

スタッフ

●芸術監督 小林紀子
●プロデューサー ジュリー・リンコン
●バレエミストレス 児玉玲子
●衣裳監督 マイケル・ブラウン
●衣裳 西村律子
●ミュージックスタッフ 青木萌絵

●音響 佐藤利彦
●照明 五十嵐正夫
●舞台監督 森岡肇
●大道具 東宝舞台株式会社
●制作 小林功
●制作助手 小林健太

「小林紀子バレエ・シアター」のご紹介

小林紀子バレエ・シアターは、1973年に東京の目白に設立されました。国際的に評価の高い、主にイギリスのバレエ作品の紹介、普及を数多く行っており、今年創立50周年を迎えます。現在までに120回もの自主公演を開催しています。

平成20年度文化庁芸術祭では、公演が高く評価され、大賞を受賞しました。

附属のバレエ学校には、300人以上の生徒さんが在籍しています。

開催日	開催校
令和4年7月5日	潟上市立飯田川小学校
令和4年7月7日	岩沼市立 岩沼南小学校
令和4年7月8日	仙台市立 館小学校
令和4年10月12日	平川市立 碇ヶ関小学校
令和4年10月13日	平川市立 金田小学校

し
知つていますか？ ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

れい わ ねん ど
令和4年度

ぶん か げい じゅつ
こ ども いく せい すい しん じ ぎょう
文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

こばやし のり こ
< 小林紀子バレエ・シアター公演 >

せ かい
～ようこそ！バレエの世界へ！～

いつ しょ たいけん
プロフェッショナルダンサーと一緒に体験する
せ かい さく ひん かん しょう
バレエの世界と「作品」の鑑賞



ぶん か げい じゅつ
こ ども いく せい すい しん じ ぎょう
「文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－」

わ くに いちりゅう ぶん か げい じゅつ だんたい しょうがっこう ちゅうがっこう など こ えん こ ども
我が国の一級文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちがすぐ ぶ たい げい じゅつ かん しょ き かい え こ ども は そ う りょく
優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげるもく てき
ことを目的としています。

じ ぜん こ ども じ つ えん し ど う ま た か ン し う し ど う お こ な
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
じ つ えん こ ども さ ん か
また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

ようこそ！バレエの世界へ！

皆さん、バレエという言葉からどんなことを想像しますか？

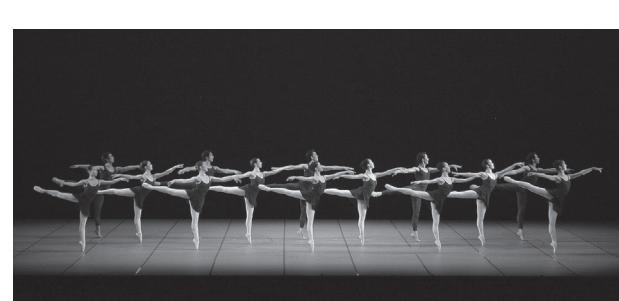
バレエは、ヨーロッパで生まれた舞踊です。ダンサーの動き、音楽、照明、舞台の装置、衣裳が一体となって表現する総合劇場芸術です。せりふや歌詞のかわりに、バレエダンサーは身体を使って役柄や音楽を表現します。ですから国境を越えて、どの国の人も楽しむことができます。バレエを観賞したことがある人も、初めての人も、今日はその世界を覗いてみましょう。

プロフェッショナルダンサーとスタッフがお手伝いします。

小林紀子（小林紀子バレエ・シアター芸術監督）

～☆☆～☆☆～ プログラム Part1 ～☆☆～☆☆～

ムーヴメント カプリース “Movement Caprice”



振付●小林紀子 作曲●L. M. ゴットシャルク 衣裳デザイン●小林紀子

「ムーヴメント カプリース」とは、「気まぐれな動き」という意味で、この作品に物語はありません。シンプルな衣裳を身に着けたプロフェッショナルのダンサーの音楽的な踊りをお見せします。

アタック トゥ バレエ

プロフェッショナルダンサーの1日は、“クラス”と呼ばれるレッスンから始まります。はじめは、“バーレッスン”といって添え木を使って練習します。次に“センターレッスン”といって何にも頼らないで、自由に踊れるための練習をします。さあ皆さんも一緒に、バレエを体験してみましょう！

円形劇場を楽しもう

ダンサーの動き、ピアノの演奏や音楽、美しい衣装や変化する照明など、ぜひ舞台のあらゆるところに目を移してみてください。あらたな楽しみを発見することができますよ。



ビデオ鑑賞

ワークショップの様子を、皆で鑑賞しましょう！

未来のバレエファンへ、メッセージ

今回皆さんに、世界中で愛され続けているケネス・マクミランの振付作品「ソリティル」をご紹介できることを、大変喜ばしく思います。もちろん「白鳥の湖」のような古典の作品を紹介することも大切ですが、現代の振付家によるバレエを皆さんにお見せすることも、とても重要だと考えます。ケネス・マクミランは若者の情操教育に大変熱心でしたので、今日皆さんが「ソリティル」をご覧になることをとても喜んでいることでしょう。この作品がきっかけとなり「もっと別の作品が見たい」と感じていただければ幸いです。

ジュリー・リンコン（プロデューサー、イギリス）

～☆☆～☆☆～ プログラム Part2 ～☆☆～☆☆～

ソリティル “Solitaire”

振付●ケネス・マクミラン 作曲●マルコム・アーノルド 美術●キム・ベアスフォード

最後にイギリスの振付家が作った作品をご紹介しましょう。この作品は、1956年にイギリスで初めて上演されました。主人公は1人でいろいろなことを想像するのが大好きな少女です。

皆さん1人で、学校の事、友達の事・・・いろんなことを想像することができますね？今日は主人公の少女と同じ気持ちになってみましょう。少女は「どんなことに憧れているのか」「どんなことに悩んでいるのか」そして「どんな大人になろうとしているのか」・・・きっとあなたに少女やその友達の話し声が聞こえますよ。

